

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料目次）

【資料 1】総務省「情報通信白書」（令和 3 年版）第 1 部 第 2 章第 1 節（2021 年 7 月）	p. 2
【資料 2】みずほ情報総研株式会社「IT ベンチャー等によるイノベーション促進のための 人材育成・確保モデル事業 事業報告書第 2 部」第 3 章（2016 年 3 月）…	p. 3
【資料 3】野村総合研究所「DCI にみる都道府県別デジタル度～2022 年は地方のデジタル化 が進む～」（2023 年 4 月）（抜粋）	p. 4
【資料 4】東北経済産業省情報政策室「東北地域のデジタル化・DX 化に向けた状況と関連 施策」（2021 年 3 月 15 日）	p. 5
【資料 5】東北経済産業局「地域企業の状況と経済産業省におけるデジタル関連施策につい て」（2022 年 2 月 17 日）	p. 6
【資料 6】独立行政法人情報処理推進機構「DX 白書 2023」（2023 年 3 月 16 日）（抜粋）	p. 7
【資料 7】リクルート進学総研「マーケットリポート 2022」（2023 年 2 月号）（抜粋）	p. 8
【資料 8】内閣官房教育未来創造会議 「第一次提言」（概要）（2022 年 5 月 10 日）（抜粋）	p. 9
【資料 9】内閣府総合科学技術・イノベーション会議「人文科学・社会科学系における大学 院教育の関連データ集」（2022 年 8 月 4 日参考資料）（抜粋）	p. 10
【資料 10】東北の地域経済発展を担うデータサイエンス人材育成事業リーフレット…	p. 11
【資料 11】経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称） 設置に関するニーズ調査 結果報 告書 【在学生対象調査】	p. 13
【資料 12】「経済学研究科 経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称） 設置に関するニ ーズ調査 結果報告書 【社会人対象調査】	p. 38
【資料 13】「経済学研究科 経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称） 設置に関するニ ーズ調査 結果報告書 【企業対象調査】	p. 61
(別紙)	
【別紙 1】新設組織が置かれる都道府県への入学状況	p. 76
【別紙 2】既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）	p. 77
【別紙 3】既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績	p. 78

【資料 1】

1. 資料名

「情報通信白書」（令和 3 年版）（2021 年 7 月）

2. 出典

総務省ホームページ

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/pdf/n2100000.pdf>

（閲覧日：2024 年 4 月 18 日）

3. 引用範囲

- ・第 1 部 第 2 章第 1 節「コロナ禍で加速するデジタル化」（153 頁～167 頁）

【資料 2】

1. 資料名

「IT ベンチャー等によるイノベーション促進のための人材育成・確保モデル事業 事業報告書第 2 部」(2016 年 3 月)

2. 出典

みずほ情報総研株式会社

https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11457937/www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/27FY/ITjinzai_fullreport.pdf

(閲覧日：2024 年 4 月 18 日)

3. 引用範囲

- ・第 3 章「IT 人材需給推計に関するマクロモデルの構築・試算」(14 頁～83 頁)
※82 ページ「4. IT 人材の需給に関する今後の見通し(調査結果総括)」の 1 行目から 2 行目の一文に赤の下線を引いた。

【資料 3】

1. 資料名

「DCI にみる都道府県別デジタル度～2022 年は地方のデジタル化が進む～」(2023 年 4 月)

2. 出典

野村総合研究所

https://www.nri.com/-/media/Corporate/jp/Files/PDF/knowledge/report/cc/digital_economy/20230419_1.pdf?la=ja-JP&hash=7744EDD270D28282F19DAFD0777830C3B755B4C4

(閲覧日：2024 年 4 月 18 日)

3. 引用範囲

- ・「DCI (デジタル・ケイパビリティ・インデックス)」 「DCI の上位 5 都府県は福井県、東京都、茨城県、富山県、静岡県」(2 頁～6 頁)

【資料 4】

1. 資料名

「東北地域のデジタル化・DX 化に向けた状況と関連施策」（2021 年 3 月 15 日）

2. 出典

東北経済産業省情報政策室

https://jasa.or.jp/dl/bizmatch/webinar20210315_5.pdf

（閲覧日：2024 年 4 月 18 日）

3. 引用範囲

- ・「東北地域の中堅・中小企業のデジタル化状況①」（2 頁）
- ・「東北地域の中堅・中小企業のデジタル化状況②」（3 頁）
- ・「東北地域の中堅・中小企業のデジタル化状況調査③」（4 頁）
- ・「東北地域の中堅・中小企業のデジタル化状況調査④」（5 頁）
- ・「地域 IT 企業への期待」（14 頁）

【資料 5】

1. 資料名

「地域企業の状況と経済産業省におけるデジタル関連施策について」(2022 年 2 月 17 日)

2. 出典

東北経済産業局

[https://www.tohoku-](https://www.tohoku-isa.net/img/doc/20220217_TISA%E8%AC%9B%E6%BC%94%E8%B3%87%E6%96%99rr.pdf)

[isa.net/img/doc/20220217_TISA%E8%AC%9B%E6%BC%94%E8%B3%87%E6%96%99rr.pdf](https://www.tohoku-isa.net/img/doc/20220217_TISA%E8%AC%9B%E6%BC%94%E8%B3%87%E6%96%99rr.pdf)

(閲覧日：2024 年 4 月 18 日)

3. 引用範囲

- ・「IT 人材（情報処理・通信技術者）の有効求人倍率（都道府県別）（2016. 4 ～2020. 9 の平均値）」（15 頁）
- ・「V DX に活用できる関連施設（支援策）」（40 頁から 50 頁）

【資料6】

1. 資料名

「DX 白書 2023」(2023 年 3 月 16 日)

2. 出典

独立行政法人情報処理推進機構

<https://www.ipa.go.jp/publish/wp-dx/gmcbt80000000botk-att/000108041.pdf>

(閲覧日：2024 年 4 月 18 日)

3. 引用範囲

- ・第4部第2章 5. IT人材の学び・スキル向上「(3) 動機づけ(学ぶ、次のキャリア) ③ 今後身につけるべき重要なスキル」(219 頁)

1. 資料名

「マーケットリポート 2022」(2023 年 2 月号)

2. 出典

リクルート進学総研

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2022_souken_report/2022_souken_report.pdf

(閲覧日：2024 年 4 月 18 日)

3. 引用範囲

- ・「分析・データについて」(2 頁)
- ・「18 歳人口予測 (全体：全国：2022～2034 年)」(3 頁)
- ・「18 歳人口予測 (全体：都道府県別：2022→2034 年)」(5 頁)
- ・「18 歳人口予測 (全体：エリア別：2022～2034 年)」(6 頁)
- ・「大学進学率の推移 (現役：エリア別：2013～2022 年)」(9 頁)
- ・「地元残留率の推移 (全体：大学入学者数：エリア別：2013～2022 年)」(16 頁)

1. 資料名

「第一次提言」(概要)(2022 年 5 月 10 日)

2. 出典

内閣官房教育未来創造会議

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/pdf/220510gaiyou.pdf>

(閲覧日：2024 年 4 月 18 日)

3. 引用範囲

- ・「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について 教育未来創造会議 第一次提言」(1 頁、3 頁) ※「3. 学び直し(リカレント教育)を促進するための環境整備」の部分を赤枠で囲んだ。

【資料 9】

1. 資料名

「人文科学・社会科学系における大学院教育の関連データ集」(2022 年 8 月 4 日参考資料)

2. 出典

内閣府総合科学技術・イノベーション会議

<https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/yusikisha/20220804/sanko2.pdf>

(閲覧日：2024 年 4 月 18 日)

3. 引用範囲

・「学士課程修了者の進学率の推移（分野別）」（3 頁）

経済学研究科

経済データサイエンス専攻(仮称)

修士課程 の設置を構想しています。

専攻の特色

経済学と数理・データサイエンス・AIの融合

高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。

東北地方の活性化に貢献できる人材の育成

DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。

※設置計画は予定であり、変更になる場合があります。



東北学院大学

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻（仮称） 修士課程」の設置計画の概要

名称

経済学研究科経済データサイエンス専攻（仮称） 修士課程

開設予定時期

2025(令和7)年4月

設置理念

政府が掲げるデジタル革新戦略 Society5.0を念頭に、社会の DX化が進められている。東北地域での中小企業における DX化及び IT利活用の割合は低く、地場の IT産業の事業者数・売上ともに全国に比べて低いが、DX化への対応に向けて設備投資を急に増やしている。このことから、今後、データサイエンスのスキルを身に付けたビジネス人材への需要が高まることが予想される。また、東日本大震災以降、震災後の経済・社会の動向に関するデータが蓄積されてきた。これらのデータを分析し、災害時の経済対策に役立つ提言を行うことは、東北地方の研究・教育機関が果たすべき役割として大変重要なものと考えられる。本学において東北経済・社会のニーズに応えるため、経済学、数理・データサイエンス・AIの高度な専門知識とスキルを修得した修了生が、東北の経済を支える地域企業・自治体等での活躍により、地域活性化に貢献できることを目的として、経済学研究科経済データサイエンス専攻（仮称）修士課程を設置する。

養成する人材像

経済・社会の諸問題に関する多角的な視点及び基本的な知識を持ち、経済学及び数理・データサイエンス・AIの専門知識やスキルを活用して課題解決策を提案できる、地域経済の推進力となる人材を養成する。

アドミッションポリシー

- 経済学研究科は、次の点を確認することにより、修士課程への入学者を受け入れる。
1. 本課程の学修に必要な経済学に関する基礎学力と明確な研究計画を有していること。
 2. 本課程の学修において必要な経済学の専門知識及びデータサイエンスを用いた分析能力を修得しようとする意欲を有すること。
 3. 社会経験をもとに地域経済・社会に関する諸問題を数理的に分析し、解決策を提案したいという姿勢をもっていること。

設置場所

宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号（土樋キャンパス）
宮城県仙台市若林区清水小路3番1号（五橋キャンパス）

学生納付金等（予定）

		本学卒業の 入学者	本学以外からの 入学者
学生納付金	入 学 金	－	¥270,000
	授 業 料	¥617,000	¥617,000
	施設設備資金	¥210,000	¥210,000
	教育充実費	¥20,000	¥20,000
	諸会費	¥19,800	¥22,800
計		¥866,800	¥1,139,800

（注）社会人大学院学生に対する給付型奨学金制度を検討中

競合する大学院・
研究科・専攻等の名称

- （1）東北大学大学院
経済学研究科経済経営学専攻
- （2）岩手大学大学院
総合科学研究科地域創生専攻
- （3）宮城大学大学院
事業構想学研究科事業構想学専攻
- （4）福島大学大学院
地域デザイン科学研究科経済経営専攻

入学定員

修士課程 4名

目指せる職業や将来像

地域の企業・金融機関、公務員（県庁、市役所）、
地域コンサルタント業界、情報通信業界、
NPO法人、NGO法人 等

経済データサイエンス専攻教育課程（案）

		授業名称	単位
研究基礎		経済学特論	2
		データサイエンス特論	2
研究科講義	経済学	ミクロ経済学特論Ⅰ	2
		ミクロ経済学特論Ⅱ	2
		マクロ経済学特論Ⅰ	2
		マクロ経済学特論Ⅱ	2
		産業組織論特論Ⅰ	2
		産業組織論特論Ⅱ	2
		国際経済論特論Ⅰ	2
		国際経済論特論Ⅱ	2
		経済統計学特論Ⅰ	2
		経済統計学特論Ⅱ	2
		産業連関分析特論Ⅰ	2
		産業連関分析特論Ⅱ	2
		計量経済学特論Ⅰ	2
		計量経済学特論Ⅱ	2
	数理・データサイエンス・AI	モデル・シミュレーション特論Ⅰ	2
		モデル・シミュレーション特論Ⅱ	2
		社会調査法特論	2
		社会統計学特論	2
		データベース特論	2
		人工知能特論	2
		複雑系の科学	2
		プログラミング特論	2
		ネットワーク特論	2
		メディア・コミュニケーション特論	2
		情報システム特論	2
		メディア情報処理特論	2
研究科演習	経済学	アルゴリズム特論	2
		ミクロ経済学演習	4
		マクロ経済学演習	4
		産業組織論演習	4
		計量経済学演習	4
		産業連関分析演習	4
	データ分析実践	社会調査法演習	4
		モデル・シミュレーション演習	4
		人工知能演習	4
		メディア・コミュニケーション演習	4
		情報システム演習	4
		特定テーマ研究	4

※設置計画は予定であり、変更になる場合があります。

東北学院大学大学院
「経済学研究科
経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【在学生対象調査】

令和6年2月
株式会社 進研アド

1. 調査目的

2025年4月開設予定の東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の設置構想に関して、東北学院大学在学生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		在学生対象調査
調査対象		東北学院大学在学生 (経済学部経済学科・工学部情報基盤工学科・ 教養学部情報科学学科所属の3年生)
調査方法		Web調査 (学内イントラ・学生用メールサービスにて配布)
調査 対象数	有効回収数	51名
調査時期		2023年12月1日(金)～2023年12月27日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

※重複してアンケートに回答していないかを聞く質問を設け、「同じアンケートに回答したことがある」と回答した人は集計から除外している。各調査回答者の重複はない。

3. 調査項目

在学生対象調査
・所属学部・学科 ・学年 ・卒業後の希望進路 ・志望する設置者 ・興味のある学問分野 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の特色に対する魅力度 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への受験意向 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への入学意向 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への入学希望時期 ・就職後や大学院等卒業後の東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への進学希望

入学意向調査 調査結果

※報告書内の表中の%の母数は、
特に断りがない場合、回答者全体(51名)

回答者の属性

※本調査は、東北学院大学大学院の「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)に対する需要を確認するための調査として設計。在学生に調査を実施し、51名から回答を得た。

- 回答者の所属学部・学科は、「経済学部経済学科」が51.0%、「工学部情報基盤工学科」が23.5%、「教養学部情報科学科」が25.5%である。
- 回答者の学年は、「3年生」が100.0%である。

■所属学部・学科

Q1. あなたが所属する学部・学科をお答えください。あてはまるものを1つ選択してください。
※2023年4月時点での所属をお答えください。

	標 本 数	経 済 学 部 経 済 学 科	情 報 基 盤 工 学 部 工 学 科	情 報 基 盤 工 学 部 情 報 基 盤 工 学 科	あ て は ま る も の は	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)						
全体	51	51.0 26	23.5 12	25.5 13	0.0 0	0.0 0

■学年

Q2. あなたの学年をお答えください。あてはまるものを1つ選択してください。※2023年4月時点での学年をお答えください。

	標 本 数	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	あ て は ま る も の は	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)							
全体	51	0.0 0	0.0 0	100.0 51	0.0 0	0.0 0	0.0 0

卒業後の希望進路

- 回答者のうち、卒業後に「大学院「修士課程」に進学」することを検討している人は7.8%。
以下、「就職」が94.1%、「その他」が2.0%である。
- 卒業後の希望進路として「大学院「修士課程」に進学」を選択した人に、設置者ごとの希望を複数回答で聴取した。その結果、東北学院大学大学院の該当する「私立」を希望する人は75.0%、「国立」が75.0%であった。

■卒業後の希望進路

Q3. あなたは、卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
現在検討している進路をすべて選択してください。(複数選択可)

	標 本 数	大 学 院 「 修 士 課 程 」 に 進 学	就 職	そ の 他	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)					
全体	51	7.8 4	94.1 48	2.0 1	0.0 0



※「大学院「修士課程」に進学」を選択した4名を抽出

■希望する大学等の区分(設置者)

Q4. 前問で、「大学院「修士課程」に進学」を選んだ方に伺います。
現在検討している(希望している)設置者をすべて選択してください。(複数選択可)

	標 本 数	私 立	国 立	公 立	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)					
全体	4	75.0 3	75.0 3	0.0 0	0.0 0

興味のある学問分野

- 大学院進学希望者の興味のある学問分野を複数回答で聴取したところ、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の学びと関連する「工学(データサイエンス、情報工学など)」が100.0%である。
- 回答者のうち、私立大学院進学希望者に限定すると、興味のある学問分野は「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の学びと関連する「工学(データサイエンス、情報工学など)」が100.0%である。

＜私立大学院進学希望者＞

- ① Q3で卒業後の進路として「大学院「修士課程」に進学」を希望。
- ② Q4で「私立」への進学を希望。

■興味のある学問分野

Q5. 引き続き、“大学院「修士課程」に進学”を選んだ方に伺います。

修士課程で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中からすべて選択してください。(複数選択可)

<大学院進学希望者ベース>

	標本数	商学・経済学	工学（機械工学、土木・建築工学など）	法学・政治学	社会学	人文科学（文学、哲学など）	教育学（教育学、体育学など）
上段：% 下段：件数（名）							
大学院進学希望者	4	0.0 0	100.0 4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0

	標本数	食家（家政学、児童学など）	保健（医学、薬学、看護学など）	理学（数学・化学など）	農学（農学、林学、水産学など）	その他	わからない	無回答
上段：% 下段：件数（名）								
大学院進学希望者	4	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0

※%の母数は、大学院進学希望者（4名）

<私立大学院進学希望者ベース>

	標本数	商学・経済学	工学（機械工学、土木・建築工学など）	法学・政治学	社会学	人文科学（文学、哲学など）	教育学（教育学、体育学など）
上段：% 下段：件数（名）							
私立大学院進学希望者	3	0.0 0	100.0 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0

	標本数	食家（家政学、児童学など）	保健（医学、薬学、看護学など）	理学（数学・化学など）	農学（農学、林学、水産学など）	その他	わからない	無回答
上段：% 下段：件数（名）								
私立大学院進学希望者	3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0

※%の母数は、私立大学院進学希望者（3名）

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」のターゲット層と定義し、分析を行う。

- ① Q3で卒業後の進路として「大学院「修士課程」に進学」を希望。
- ② Q4で「私立」への進学を希望。
- ③ Q5で、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の学びと関連する学問分野への興味あり
(商学・経済学、工学(データサイエンス、情報工学など)のいずれかに興味あり)

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への受験・入学意向

- 上記の①～③の条件すべてに合致する回答者(経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程のターゲット層該当者)は、3名である。
- ターゲット層該当者の、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」への受験意向、入学意向をみると、
 - ◇「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は1名
 - ◇「第二志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は0名
 - ◇「第三志望以降として受験する」かつ「入学する」と回答した人は0名上記を合計すると、いずれかの志望順位で「入学する」と回答した人は、1名

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への受験・入学意向

■東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への受験・入学意向

Q7. 東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称・設置構想中)が設置された場合、受験を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

Q8. あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称・設置構想中)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

		入学意向		
		入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない
上段: % 下段: 件数(名)				
受験意向	第一志望	2.0 1	0.0 0	0.0 0
	第二志望	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	第三志望以降	0.0 0	2.0 1	0.0 0
	受験意向あり・合計	2.0 1	2.0 1	0.0 0
受験しない		2.0 1		

※%の母数は、回答者全体(51名)

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への入学希望時期

- ・ターゲット層該当者のうち、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」かつ「2025年4月の入学を希望する」と回答した人は、1名である。

■東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への入学希望時期

Q9. あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称・設置構想中)に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

上段: % 下段: 件数(名)	標本数	2025年4月の 入学を希望する	2026年4月の 入学を希望する	2027年4月 以降の入学を 希望する	無回答
ターゲット層 ×	1	100.0	0.0	0.0	0.0
第一志望者		1	0	0	0

※%の母数は、ターゲット層(大学院「修士課程」進学希望×私立×関連学問興味あり)該当者のうち、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人(1名)

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の特色に対する魅力度

【経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程 ターゲット層】
下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 3名(回答者全体の5.9%)

- ① Q3で卒業後の進路として「大学院「修士課程」に進学」を希望。
- ② Q4で「私立」への進学を希望。
- ③ Q5で、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の学びと関連する学問分野への興味あり
(商学・経済学、工学(データサイエンス、情報工学など)のいずれかに興味あり)



- ・ターゲット層における「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の特色に対する魅力度(※)は、2つの項目どちらも6割を超える。各特色については以下のとおり。
- ・「1. 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合 高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。」の魅力度は100.0%である。
- ・「2. 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成 DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。」の魅力度は66.7%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

- ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人(第一志望者)における「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の特色に対する魅力度(※)は、2つの項目どちらも100.0%である。各特色については以下のとおり。
- 「1. 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合 高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。」の魅力度は100.0%である。
- 「2. 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成 DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。」の魅力度は100.0%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

■東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)
の特色に対する魅力度

Q6. 東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称・設置構想中)には、
以下のような特色があります。あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまるもの1つだけ)

特色1. 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合

高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を
多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。

特色2. 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成

DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できる
ビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。

上段:% 下段:件数(名)	標本数	特色1	特色2
ターゲット層	3	100.0 3	66.7 2
第一志望者	1	100.0 1	100.0 1

※第一志望者:

ターゲット層(大学院進学希望×私立×関連学問興味あり)該当者のうち、
東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」を「第一志望として
受験する」かつ「入学する」と回答した人

就職後や大学院等卒業後の東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への進学希望

- ・就職後や大学院等卒業後に東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」へ「進学を希望する可能性はある」と回答した人は、21.9%である。

■就職後や大学院等卒業後の東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への進学希望

Q10. 東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称・設置構想中)を「受験しない」と答えた方に伺います。長期的に見た場合、就職して実務経験を積んだ後や、他の大学院等を卒業した後に、東北学院大学大学院「経済学研究科 経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称・設置構想中)への進学を希望される可能性はありますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

上段：％ 下段：件数(名)	標本数	進学を希望する 可能性はある	進学を希望しない	無回答
全体	32	21.9 7	78.1 25	0.0 0

※％の母数は、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」を「受験しない」と回答した人(32名)

卷末資料 調查票

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に関するアンケート

Q1

あなたが所属する学部・学科をお答えください。
あてはまるものを1つ選択してください。
※2023年4月時点での所属をお答えください。

- ☐ 1. 経済学部経済学科
- ☐ 2. 工学部情報基盤工学科
- ☐ 3. 教養学部情報科学科
- ☐ 4. あてはまるものはない

Q2

あなたの学年をお答えください。
あてはまるものを1つ選択してください。
※2023年4月時点での学年をお答えください。

- ☐ 1. 1年生
- ☐ 2. 2年生
- ☐ 3. 3年生
- ☐ 4. 4年生
- ☐ 5. あてはまるものはない

Q3

あなたは、卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
現在検討している進路をすべて選択してください。（複数選択可）

- ☐ 1. 大学院「修士課程」に進学
- ☐ 2. 就職
- ☐ 3. その他（【FA】）

Q4

前問で、「大学院「修士課程」に進学」を選んだ方に伺います。
現在検討している（希望している）設置者をすべて選択してください。（複数選択可）

- ☐ 1. 私立
- ☐ 2. 国立
- ☐ 3. 公立

Q5

引き続き、“大学院「修士課程」に進学”を選んだ方に伺います。
修士課程で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中からすべて選択してください。（複数選択可）

- ☐ 1. 商学・経済学
- ☐ 2. 工学（データサイエンス、情報工学など）
- ☐ 3. 工学（機械工学、土木・建築工学など）
- ☐ 4. 法学・政治学
- ☐ 5. 社会学
- ☐ 6. 人文科学（文学、史学、哲学など）
- ☐ 7. 教育（教育学、体育学など）
- ☐ 8. 家政（家政学、食物学、児童学など）
- ☐ 9. 保健（医学、薬学、看護学など）
- ☐ 10. 理学（数学・化学など）
- ☐ 11. 農学（農学、林学、水産学など）
- ☐ 12. その他【FA】
- ☐ 13. わからない

Q6

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）には、以下のような特色があります。
あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまるもの1つだけ）

項目リスト

	経済学と数理・データサイエンス・AIの融合
1.	高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。
	東北地方の活性化に貢献できる人材の育成
2.	DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。

選択肢リスト

- ☐ 1. とても魅力を感じる
- ☐ 2. ある程度魅力を感じる
- ☐ 3. あまり魅力を感じない
- ☐ 4. まったく魅力を感じない

Q7

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）が設置された場合、受験を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

- ☐ 1. 第一志望として受験する
- ☐ 2. 第二志望として受験する
- ☐ 3. 第三志望以降として受験する
- ☐ 4. 受験しない

Q8

あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

- ☐ 1. 入学する
- ☐ 2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ☐ 3. 入学しない

Q9

あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

- ☐ 1. 2025年4月の入学を希望する
- ☐ 2. 2026年4月の入学を希望する
- ☐ 3. 2027年4月以降の入学を希望する

Q10

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）を「受験しない」と答えた方に伺います。
長期的に見た場合、就職して実務経験を積んだ後や、他の大学院等を卒業した後に、東北学院大学大学院「経済学研究科 経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）への進学を希望される可能性はありますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

- ☐ 1. 進学を希望する可能性はある
- ☐ 2. 進学を希望しない

Q11

あなたは過去に、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に関する、本アンケートと同じアンケートに回答したことがありますか。

- ☐ 1. 同じアンケートに回答したことはない
- ☐ 2. 同じアンケートに回答したことがある

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に関するアンケート

東北学院大学大学院では2025年（令和7年）4月に、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称）の設置を構想しています。
構想中である上記修士課程の教育内容をより充実したものにするための参考資料として、
現在、経済学部経済学科、工学部情報基盤工学科及び教養学部情報科学科に所属する大学生の
皆様にご意見を頂きたいと考えています。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用
し、個人を特定することは一切ありません。
皆様の忌憚のないご意見をお聞かせくださいますよう、ぜひアンケートへのご協力をお願い
いたします。

Q1

100%

あなたが所属する学部・学科をお答えください。
あてはまるものを1つ選択してください。
※2023年4月時点での所属をお答えください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 経済学部経済学科
- ② 工学部情報基盤工学科
- ③ 教養学部情報科学科
- ④ あてはまるものはない



ここで改ページ

Q2

あなたの学年をお答えください。
あてはまるものを1つ選択してください。
※2023年4月時点での学年をお答えください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 1年生
- ② 2年生
- ③ 3年生
- ④ 4年生
- ⑤ あてはまるものはない



ここで改ページ

Q3

あなたは、卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
現在検討している進路をすべて選択してください。（複数選択可）

✓ 複数回答 ★ 必須回答

とじる

1 大学院「修士課程」に進学

2 就職

3 その他 ()



ここで改ページ

Q4

前問で、“大学院「修士課程」に進学”を選んだ方に伺います。
現在検討している（希望している）設置者をすべて選択してください。（複数選択可）

✓ 複数回答 ★ 必須回答

とじる

1 私立

2 国立

3 公立



ここで改ページ

Q5

引き続き、“大学院「修士課程」に進学”を選んだ方に伺います。
修士課程で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中からすべて選択してください。（複数選択可）

✓ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- 1 商学・経済学
- 2 工学（データサイエンス、情報工学など）
- 3 工学（機械工学、土木・建築工学など）
- 4 法学・政治学
- 5 社会学
- 6 人文科学（文学、史学、哲学など）
- 7 教育（教育学、体育学など）
- 8 家政（家政学、食物学、児童学など）
- 9 保健（医学、薬学、看護学など）
- 10 理学（数学・化学など）
- 11 農学（農学、林学、水産学など）
- 12 その他
- 13 わからない

.....✂️ ここまで改ページ

C1

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）の設置構想内容をご覧ください。

▼ ボタンをクリックして、表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須

【設置構想資料】

※このアンケートに記載されている東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

Q6

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）には、以下のような特色があります。

あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまるもの1つだけ）

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/2

1 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合

高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。

2 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成

DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。

1 とても魅力を感じる

2 ある程度魅力を感じる

3 あまり魅力を感じない

4 まったく魅力を感じない

..... ✂ ここまで改ページ

Q7

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）が設置された場合、受験を希望しますか。

あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

1 第一志望として受験する

2 第二志望として受験する

3 第三志望以降として受験する

4 受験しない

..... ✂ ここまで改ページ

Q8

あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

⓪ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない



ここで改ページ

Q9

あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

⓪ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 2025年4月の入学を希望する
- ② 2026年4月の入学を希望する
- ③ 2027年4月以降の入学を希望する



ここで改ページ

Q10

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）を「受験しない」と答えた方に伺います。

長期的に見た場合、就職して実務経験を積んだ後や、他の大学院等を卒業した後に、東北学院大学大学院「経済学研究科 経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）への進学を希望される可能性はありますか。

あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

⓪ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 進学を希望する可能性はある
- ② 進学を希望しない



ここで改ページ

Q11

あなたは過去に、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に関する、本アンケートと同じアンケートに回答したことがありますか。

☐ 単一回答

☒ 必須回答

▲ とじる

- ☐ ① 同じアンケートに回答したことはない
- ☐ ② 同じアンケートに回答したことがある

.....  ここで改ページ

アンケートは以上で終わります。ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送 信

経済学研究科

経済データサイエンス専攻(仮称)

修士課程 の設置を構想しています。

専攻の特色

経済学と数理・データサイエンス・AIの融合

高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。

東北地方の活性化に貢献できる人材の育成

DX化が進んでいる東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。

※設置計画は予定であり、変更になる場合があります。



東北学院大学

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻(仮称) 修士課程」の設置計画の概要

名称
経済学研究科経済データサイエンス専攻(仮称) 修士課程

開設予定時期
2025(令和7)年4月

設置理念
政府が掲げるデジタル戦略 Society5.0を念頭に、社会のDX化が進められている。東北地域での中小企業におけるDX化及びIT利活用の割合は低く、地域のIT産業の事業者数・売上ともに全国に比べて低いが、DX化への対応に向けて設備投資を急いでいる。このことから、今後、データサイエンスのスキルを身に付けたビジネス人材への需要が高まることが予想される。また、東日本大震災以降、震災後の経済・社会の動向に関するデータが蓄積されてきた。これらのデータも分析し、災害時の経済対策に役立つ提言を行うことは、東北地方の研究・教育機関が果たすべき役割として大変重要なものと考えられる。本学において東北経済・社会のニーズに応えるため、経済学、数理・データサイエンス・AIの高度な専門知識とスキルを修得した修士が、東北の経済を支える地域企業・自治体等での活躍により、地域活性化に貢献できることを目的として、経済学研究科経済データサイエンス専攻(仮称)修士課程を設置する。

養成する人材像
経済・社会の諸問題に関する多角的な視点及び基本的な知識を持ち、経済学及び数理・データサイエンス・AIの専門知識やスキルを活用して課題解決策を提案できる、地域経済の推進力となる人材を養成する。

アドミッションポリシー
経済学研究科は、次の点を確認することにより、修士課程への入学者を受け入れる。
1. 本課程の学修に必要な経済学に関する基礎学力と明確な研究計画を有していること。
2. 本課程の学修において必要な経済学の専門知識及びデータサイエンスを用いた分析能力を修得しようとする意欲を有すること。
3. 社会課題をもとに地域経済・社会に関する諸問題を数量的に分析し、解決策を提案したいという意欲をもっていること。

設置場所
宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号(土樋キャンパス)
宮城県仙台市青葉区清水小路3番1号(五橋キャンパス)

学生納付金等(予定)

	入学費	入学料
入 学 費	—	¥270,000
授 業 料	¥617,000	¥617,000
施設設備費	¥210,000	¥210,000
教育充実費	¥20,000	¥20,000
諸会費	¥19,000	¥22,000
計	¥866,000	¥1,139,000

(注)社会人大学院生に対する給付奨励学費制度も視野中

統合する大学院・研究科・専攻等の名称

- 1) 東北大学大学院 経済学研究科経済経営学専攻
- 2) 岩手大学大学院 総合科学研究科地域創生専攻
- 3) 宮城大学大学院 事業構想科学研究科事業構想学専攻
- 4) 福島大学大学院 地域デザイン科学研究科経済経営専攻

入学定員

修士課程 4名

目指せる職業や将来像

地域の企業・金融機関・公務員(県庁・市役所)・
地域コンサルタント業界、情報通信業界、
NPO法人、NGO法人 等

経済データサイエンス専攻教育課程(案)

研究基礎	授業名称	単位
経済学	経済学特論 I	2
	データサイエンス特論 I	2
	ミクロ経済学特論 I	2
	ミクロ経済学特論 II	2
	マクロ経済学特論 I	2
	マクロ経済学特論 II	2
	産業組織論特論 I	2
	産業組織論特論 II	2
	国際経済論特論 I	2
	国際経済論特論 II	2
	経済統計学特論 I	2
	経済統計学特論 II	2
	産業連関分析特論 I	2
	産業連関分析特論 II	2
数理・データサイエンス・AI	モデル・シミュレーション特論 I	2
	モデル・シミュレーション特論 II	2
	社会統計学特論 I	2
	データベース特論 I	2
	人工知能特論 I	2
	情報系の科学	2
	プログラミング特論 I	2
	ネットワーク特論 I	2
	メディア・コミュニケーション特論 I	2
	情報システム特論 I	2
	メディア情報処理特論 I	2
	アルゴリズム特論 I	2
	ミクロ経済学演習	4
	マクロ経済学演習	4
研究科演習	産業組織論演習	4
	計量経済学演習	4
	産業連関分析演習	4
	社会調査法演習	4
	モデル・シミュレーション演習	4
	人工知能演習	4
	メディア・コミュニケーション演習	4
	情報システム演習	4
	特定テーマ研究	4

※設置計画は予定であり、変更になる場合があります。

東北学院大学大学院
「経済学研究科
経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【社会人対象調査】

令和6年2月
株式会社 進研アド

— 学生確保 (資料) — 38 —

1. 調査目的

2025年4月開設予定の東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の設置構想に関して、東北地方に居住する大卒以上の社会人からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		社会人対象調査
調査対象		東北地方在住の社会人(大卒以上)
調査方法		インターネット調査
調査対象数	有効回収数	206名
調査時期		2023年12月1日(金)～2023年12月11日(月)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

社会人対象調査
・性別 ・居住地 ・職業 ・学びなおしの教育機関 ・検討する設置者 ・興味のある学問分野 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の特色に対する魅力度 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への受験意向 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への入学意向 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への入学希望時期
※各調査項目については、東北地方在住者かつ大卒以上を対象として調査を実施している

入学意向調査 調査結果

※報告書内の表中の%の母数は、
特に断りがない場合、回答者全体(206名)

回答者の属性

※本調査は、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)に対する需要を確認するための調査として設計。社会人に調査を実施し、206名から回答を得た。

- 回答者の性別は、「男性」が65.0%、「女性」が35.0%である。
- 回答者の居住地は、東北学院大学大学院の所在地である「宮城県」が50.0%を占め、最も多い。次に「福島県」が13.6%、「山形県」が12.1%と続く。
- 回答者の職業は、「公務員」が18.0%で最も多い。次に「会社員(その他)」が14.6%、「会社員(事務系)」が14.1%と続く。

■性別

	標本数	男性	女性	無回答
上段: % 下段: 件数(名)				
全体	206	65.0 134	35.0 72	0.0 0

■居住地

	標本数	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	無回答
上段: % 下段: 件数(名)								
全体	206	8.3 17	9.7 20	50.0 103	6.3 13	12.1 25	13.6 28	0.0 0

■職業

	標 本 数	公 務 員	経 営 者 ・ 役 員	会 社 員 （ 事 務 系 ）	会 社 員 （ 技 術 系 ）	会 社 員 （ そ の 他 ）	自 営 業	自 由 業	専 業 主 婦 （ 主 夫 ）	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	学 生	そ の 他	無 職	無 回 答
上段：％ 下段：件数（名）														
全体	206	18.0 37	3.4 7	14.1 29	12.1 25	14.6 30	8.3 17	1.9 4	7.8 16	6.8 14	0.0 0	6.8 14	6.3 13	0.0 0

学びなおしの教育機関

- ・回答者のうち、学びなおしを行う場合「大学院」に進学することを検討している人は45.1%。
以下、「大学」が65.0%、「専門学校」が28.2%、「短期大学」が8.7%と続く。
- ・学びなおしの検討教育機関として「大学院」「大学」「短期大学」「専門学校」のいずれかを選択した人に、設置者ごとの希望を複数回答で聴取した。
その結果、東北学院大学大学院の該当する「私立」を希望する人は57.6%、「国立」が73.7%、「公立」が49.8%であった。

■ 学びなおしの教育機関

Q1. あなたが、専門知識の修得やスキルアップのために学びなおしを行う場合、どのような教育機関を検討していますか。
現在検討している(希望している)ものをすべて選択してください。(複数選択可)

	標 本 数	大 学 院	大 学	短 期 大 学	専 門 学 校	そ の 他	無 回 答
上段：% 下段：件数(名)							
全体	206	45.1 93	65.0 134	8.7 18	28.2 58	1.0 2	0.0 0



※「大学院」「大学」「短期大学」「専門学校」のいずれかを選択した205名を抽出

■ 検討する大学等の区分(設置者)

Q2. 現在検討している(希望している)設置者をすべて選択してください。(複数選択可)

	標 本 数	私 立	国 立	公 立	無 回 答
上段：% 下段：件数(名)					
全体	205	57.6 118	73.7 151	49.8 102	0.0 0

興味のある学問分野

- 回答者の興味のある学問分野を複数回答で聴取したところ、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の学びと関連する「商学・経済学」が42.2%で最も高い。次いで、同じく学びと関連する「工学(データサイエンス、情報工学など)」が35.0%、「法学・政治学」が22.8%と続く。
- 回答者のうち、私立大学院進学希望者に限定すると、興味のある学問分野は「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の学びと関連する「商学・経済学」「工学(データサイエンス、情報工学など)」がいずれも50.0%で最も高い。次いで、「法学・政治学」が30.8%と続く。

<私立大学院進学希望者>

- ① Q1で卒業後の進路として「大学院」に進学を希望。
- ② Q2で「私立」への進学を希望。

■興味のある学問分野

Q3. あなたが学びたいと考えている興味のある学問分野を、次の中からすべて選択してください。(複数選択可)
※現時点で「学びなおし」による進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

	標本数	商学・経済学	工学（データサイエンス、情報工学など）	工学（機械工学、土木・建築工学など）	法学・政治学	社会学	人文科学（文学、史学、哲学など）	教育学（教育学、体育学など）
上段：% 下段：件数（名）								
全体	206	42.2 87	35.0 72	13.1 27	22.8 47	20.4 42	18.9 39	19.4 40

	標本数	家政学（家政学、食物学、児童学など）	保健（医学、薬学、看護学など）	理学（数学・化学など）	農学（農学、水産学など）	その他	わからない	無回答
上段：% 下段：件数（名）								
全体	206	9.2 19	19.9 41	8.7 18	16.0 33	2.9 6	3.4 7	0.0 0

<私立大学院進学希望者ベース>

	標本数	商学・経済学	工学（データサイエンス、情報工学など）	工学（機械工学、土木・建築工学など）	法学・政治学	社会学	人文科学（文学、史学、哲学など）	教育学（教育学、体育学など）
上段：% 下段：件数（名）								
私立大学院 進学希望者	52	50.0 26	50.0 26	19.2 10	30.8 16	23.1 12	25.0 13	19.2 10

	標本数	家政学（家政学、食物学、児童学など）	保健（医学、薬学、看護学など）	理学（数学・化学など）	農学（農学、水産学など）	その他	わからない	無回答
上段：% 下段：件数（名）								
私立大学院 進学希望者	52	3.8 2	21.2 11	13.5 7	17.3 9	0.0 0	1.9 1	0.0 0

※%の母数は、私立大学院進学希望者(52名)
— 学生確保 (資料) — 45 —

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」のターゲット層と定義し、分析を行う。

- ① Q1で卒業後の進路として「大学院」に進学を希望。
- ② Q2で「私立」への進学を希望。
- ③ Q3で、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の学びと関連する学問分野への興味あり
(商学・経済学、工学(データサイエンス、情報工学など)のいずれかに興味あり)

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への受験・入学意向

- 上記の①～③の条件すべてに合致する回答者(経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程のターゲット層該当者)は、38名である。
- ターゲット層該当者の、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」への受験意向、入学意向をみると、
 - ◇「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は10名
 - ◇「第二志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は1名
 - ◇「第三志望以降として受験する」かつ「入学する」と回答した人は0名上記を合計すると、いずれかの志望順位で「入学する」と回答した人は、11名

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への受験・入学意向

■東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への受験・入学意向

Q5. あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称・設置構想中)が設置された場合、受験を希望しますか。

あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

Q6. あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称・設置構想中)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

		入学意向		
		入学する	志望順位が上位の 他の志望校が 不合格の場合に 入学する	入学しない
上段: %				
下段: 件数(名)				
受験 意 向	第一志望	4.9 10	1.9 4	0.0 0
	第二志望	0.5 1	1.9 4	0.0 0
	第三志望以降	0.0 0	1.5 3	0.5 1
	受験意向あり・合計	5.4 11	5.3 11	0.5 1
受験しない		7.3 15		

※%の母数は、回答者全体(206名)

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への入学希望時期

- ・ターゲット層該当者のうち、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」かつ「2025年4月の入学を希望する」と回答した人は、3名である。

■東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)への入学希望時期

Q7. 東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称・設置構想中)に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

上段: % 下段: 件数(名)	標本数	2025年4月の 入学を希望する	2026年4月の 入学を希望する	2027年4月 以降の入学を 希望する	無回答
ターゲット層 ×	10	30.0	20.0	50.0	0.0
第一志望者		3	2	5	0

※%の母数は、ターゲット層(大学院×私立×関連学問分野興味あり)該当者のうち、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)を「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人(10名)

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の特色に対する魅力度

【経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程 ターゲット層】
下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 38名 (回答者全体の18.4%)

- ① Q1で卒業後の進路として「大学院」に進学を希望。
- ② Q2で「私立」への進学を希望。
- ③ Q3で、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の学びと関連する学問分野への興味あり
(商学・経済学、工学(データサイエンス、情報工学など)のいずれかに興味あり)



- ・ターゲット層における「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の特色に対する魅力度(※)は、2つの項目どちらも8割を超える。各特色については以下のとおり。
- ・「1. 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合 高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。」の魅力度は86.8%である。
- ・「2. 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成 DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。」の魅力度は84.2%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

- ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人(第一志望者)における「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の特色に対する魅力度(※)は、2つの項目どちらも100.0%である。各特色については以下のとおり。
- 「1. 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合 高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。」の魅力度は100.0%である。
- 「2. 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成 DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。」の魅力度は100.0%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

■東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の特色に対する魅力度

Q4. 東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称・設置構想中)には、以下のような特色があります。

あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまるもの1つだけ)

特色1. 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合

高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。

特色2. 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成

DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。

上段: % 下段: 件数(名)	標本数	特色1	特色2
ターゲット層	38	86.8 33	84.2 32
第一志望者	10	100.0 10	100.0 10

※第一志望者:

ターゲット層(大学院進学希望×私立×関連学問分野興味あり)該当者のうち、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人

卷末資料 調查票



東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に関するアンケート

Q1

あなたが、専門知識の修得やスキルアップのために学びなおしを行う場合、どのような教育機関を検討していますか。
現在検討している（希望している）ものをすべて選択してください。（複数選択可）

- ☐ 1. 大学院
- ☐ 2. 大学
- ☐ 3. 短期大学
- ☐ 4. 専門学校
- ☐ 5. その他【FA】

Q2

現在検討している（希望している）設置者をすべて選択してください。（複数選択可）

- ☐ 1. 私立
- ☐ 2. 国立
- ☐ 3. 公立

Q3

あなたが学びたいと考えている興味のある学問分野を、次の中からすべて選択してください。（複数選択可）
※現時点で「学びなおし」による進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

- ☐ 1. 商学・経済学
- ☐ 2. 工学（データサイエンス、情報工学など）
- ☐ 3. 工学（機械工学、土木・建築工学など）
- ☐ 4. 法学・政治学
- ☐ 5. 社会学
- ☐ 6. 人文科学（文学、史学、哲学など）
- ☐ 7. 教育（教育学、体育学など）
- ☐ 8. 家政（家政学、食物学、児童学など）
- ☐ 9. 保健（医学、薬学、看護学など）
- ☐ 10. 理学（数学・化学など）
- ☐ 11. 農学（農学、林学、水産学など）
- ☐ 12. その他【FA】
- ☐ 13. わからない

Q4

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）には、以下のような特色があります。
あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまるもの 1 つだけ）

項目リスト

- | | |
|----|--|
| 1. | 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合
高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。 |
| 2. | 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成
DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。 |

選択肢リスト

- ☐ 1. とても魅力を感じる
- ☐ 2. ある程度魅力を感じる
- ☐ 3. あまり魅力を感じない
- ☐ 4. まったく魅力を感じない

Q5

あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）が設置された場合、受験を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

- ☐ 1. 第一志望として受験する
- ☐ 2. 第二志望として受験する
- ☐ 3. 第三志望以降として受験する
- ☐ 4. 受験しない

Q6

あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

- ☐ 1. 入学する
- ☐ 2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ☐ 3. 入学しない

Q7

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

- ☐ 1. 2025年4月の入学を希望する
- ☐ 2. 2026年4月の入学を希望する
- ☐ 3. 2027年4月以降の入学を希望する

東北学院大学大学院では2025年（令和7年）4月に、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称）の設置を構想しています。

構想中である上記修士課程の教育内容をより充実したものにするための参考資料として、社会人の皆様にご意見を頂きたいと考えています。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

皆様の忌憚のないご意見をお聞かせくださいますよう、アンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケート調査は東北学院大学から委託された第三者機関（（株）進研アド）が実施しています。



Q1

あなたが、専門知識の修得やスキルアップのために学びなおしを行う場合、どのような教育機関を検討していますか。

現在検討している（希望している）ものをすべて選択してください。（複数選択可）

✓ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

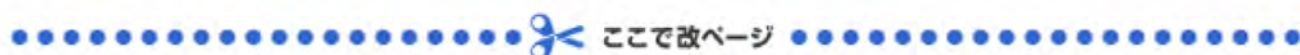
1 大学院

2 大学

3 短期大学

4 専門学校

5 その他 （必須入力）



Q2

現在検討している（希望している）設置者をすべて選択してください。（複数選択可）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

1 私立

2 国立

3 公立



ここで改ページ

Q3

あなたが学びたいと考えている興味のある学問分野を、次の中からすべて選択してください。（複数選択可）

※現時点で「学びなおし」による進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

1 商学・経済学

2 工学（データサイエンス、情報工学など）

3 工学（機械工学、土木・建築工学など）

4 法学・政治学

5 社会学

6 人文科学（文学、史学、哲学など）

7 教育（教育学、体育学など）

8 家政（家政学、食物学、児童学など）

9 保健（医学、薬学、看護学など）

10 理学（数学・化学など）

11 農学（農学、林学、水産学など）

12 その他（必須入力）

13 わからない



ここで改ページ

C2

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）の設置構想内容をご覧ください。

▼ ボタンをクリックして、表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須

【設置構想資料】

※このアンケートに記載されている東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

..... ✂ ここでは改ページ

Q4

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）には、以下のような特色があります。

あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまるもの1つだけ）

⊙ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/2

¹ 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合

高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。

² 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成

DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。

① とても魅力を感じる

② ある程度魅力を感じる

③ あまり魅力を感じない

④ まったく魅力を感じない

..... ✂ ここでは改ページ

Q5

あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」
（仮称・設置構想中）が設置された場合、受験を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

◎ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 第一志望として受験する
- ② 第二志望として受験する
- ③ 第三志望以降として受験する
- ④ 受験しない



ここで改ページ

Q6

あなたは、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」
（仮称・設置構想中）を受験して合格した場合、
入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

◎ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない



ここで改ページ

Q7

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称・設置構想中）に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より一つ選択してください。

⓪ 単一回答

★ 必須回答

↓ とじる

- ① 2025年4月の入学を希望する
- ② 2026年4月の入学を希望する
- ③ 2027年4月以降の入学を希望する

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送 信

経済学研究科

経済データサイエンス専攻(仮称)

修士課程 の設置を構想しています。

専攻の特色

経済学と数理・データサイエンス・AIの融合

高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。

東北地方の活性化に貢献できる人材の育成

DX化が進んでいる東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。

※設置計画は予定であり、変更になる場合があります。



東北学院大学

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻(仮称) 修士課程」の設置計画の概要

名称
経済学研究科経済データサイエンス専攻(仮称) 修士課程

開設予定時期
2025(令和7)年4月

設置理念
政府が掲げるデジタル戦略「Society5.0」を念頭に、社会のDX化が進められている。東北地域での中小企業におけるDX化及びIT利活用の割合は低く、地域のIT産業の事業者数・売上ともに全国に比べて低い。DX化への対応に向けて設備投資を急いでいる。このことから、今後、データサイエンスのスキルを身に付けたビジネス人材への需要が高まることが予想される。また、東日本大震災以降、震災後の経済・社会の動向に関するデータが蓄積されてきた。これらのデータも分析し、災害時の経済対策に役立つ提言を行うことは、東北地方の研究・教育機関が果たすべき役割として大変重要なものと考えられる。本学において東北経済・社会のニーズに応えるため、経済学、数理・データサイエンス・AIの高度な専門知識とスキルを修得した修士が、東北の経済を支える地域企業・自治体等での活躍により、地域活性化に貢献できることを目的として、経済学研究科経済データサイエンス専攻(仮称)修士課程を設置する。

養成する人材像
経済・社会の諸問題に関する多角的な視点及び基本的な知識を持ち、経済学及び数理・データサイエンス・AIの専門知識やスキルを活用して課題解決策を提案できる、地域経済の推進力となる人材を養成する。

アドミッションポリシー
経済学研究科は、次の点を確認することにより、修士課程への入学者を受け入れる。
1. 本課程の修習に必要な経済学に関する基礎学力と明確な研究計画を有していること。
2. 本課程の学修において必要な経済学の専門知識及びデータサイエンスを用いた分析能力を修得しようとする意欲を有すること。
3. 社会課題をもとに地域経済・社会に関する諸問題を数量的に分析し、解決策を提案したいという意欲をもっていること。

設置場所
宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号(土樋キャンパス)
宮城県仙台市青葉区清水小路3番1号(五橋キャンパス)

学生納付金等(予定)

	入学費	入学費以外からの入学者
入 学 費	—	¥270,000
授業料	¥617,000	¥617,000
施設設備費	¥210,000	¥210,000
教育充実費	¥20,000	¥20,000
諸会費	¥19,000	¥22,000
計	¥866,000	¥1,139,000

(注)社会人大学院生に対する給付奨励金制度も検討中

統合する大学院・研究科・専攻等の名称

- 1) 東北大学大学院 経済学研究科経済経営学専攻
- 2) 宮城大学大学院 総合科学研究科地域創生専攻
- 3) 宮城大学大学院 事業構想科学研究科事業構想学専攻
- 4) 福島大学大学院 地域デザイン科学研究科経済経営専攻

入学定員

修士課程 4名

目指せる職業や将来像

地域の企業・金融機関・公務員(県庁、市役所)、
地域コンサルタント業界、情報通信業界、
NPO法人、NGO法人 等

経済データサイエンス専攻教育課程(案)

	授業名称	単位
研究基礎	経済学特論 I	2
	データサイエンス特論 I	2
	ミクロ経済学特論 I	2
	ミクロ経済学特論 II	2
	マクロ経済学特論 I	2
	マクロ経済学特論 II	2
	産業組織論特論 I	2
	産業組織論特論 II	2
	国際経済論特論 I	2
	国際経済論特論 II	2
	経済統計学特論 I	2
	経済統計学特論 II	2
	計量経済学特論 I	2
	計量経済学特論 II	2
	モデル・シミュレーション特論 I	2
研究科目選修	モデル・シミュレーション特論 II	2
	社会統計学特論 I	2
	社会統計学特論 II	2
	データベース特論 I	2
	人工知能特論 I	2
	情報系の科学	2
	プログラミング特論 I	2
	ネットワーク特論 I	2
	メディア・コミュニケーション特論 I	2
	情報システム特論 I	2
	メディア・情報処理特論 I	2
	アルゴリズム特論 I	2
	ミクロ経済学演習	4
	マクロ経済学演習	4
研究科目選修	産業組織論演習	4
	計量経済学演習	4
	産業組織分析演習	4
	社会調査方法演習	4
	モデル・シミュレーション演習	4
	人工知能演習	4
	メディア・コミュニケーション演習	4
	情報システム演習	4
	特定テーマ研究	4

※設置計画は予定であり、変更になる場合があります。

東北学院大学大学院
「経済学研究科
経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業対象調査】

令和6年3月
株式会社 進研アド

1. 調査目的

2025年4月開設予定の東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の設置構想に関して、企業からの採用ニーズを把握する。

2. 調査概要

企業対象調査		
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		岩手県、宮城県、東京都、神奈川県、静岡県、京都府、広島県、福岡県、大分県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	97社
	回収数(回収率)	25社(25.8%)
調査時期		2023年12月1日(金)～2023年12月27日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
・人事採用への関与度 ・本社所在地 ・業種 ・正規社員の従業員数 ・正規社員の平均採用人数 ・本年度の採用予定数 ・採用したい学問分野 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の特色に対する魅力度 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の社会的必要性 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)修了生に対する採用意向 ・東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)修了生に対する毎年の採用想定人数

採用意向調査 調査結果

※報告書内の表中の%の母数は、
特に断りがない場合、回答企業全体(25企業)

回答企業(回答者)の属性

※本調査は、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)に対する人材需要を確認するための調査として設計。東北学院大学大学院の修了生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、25企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は24.0%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が72.0%であり、採用や選考に関わっている人事担当者から意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社(本部)所在地は、「東京都」が32.0%と最も高く、次いで東北学院大学大学院の本部所在地である「宮城県」が28.0%、「神奈川県」が16.0%と続く。
- 回答企業の業種としては「製造業」が40.0%で最も多い。次いで「情報通信業」が20.0%、「建設業」が16.0%と続く。
- 回答企業の正規社員の従業員数は、「1,000名～5,000名未満」が32.0%と最も多く、次いで「100名～500名未満」が28.0%と続く。100名以上の比較的規模が大きい企業が8割を超える。

回答企業の採用状況(過去3か年平均)／ 本年度の採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は「1名～5名未満」が28.0%と最も多く、次いで「50名～100名未満」が24.0%、「10名～20名未満」「100名以上」がともに20.0%と続く。毎年正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が64.0%と最も多く、次いで「増やす」が20.0%である。回答企業の多くで昨年以上の採用が予定されている。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聞いたところ、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の学びと関連する「工学(データサイエンス、情報工学など)」が76.0%で最も高い。同率で「工学(機械工学、土木・建築工学など)」も76.0%である。次いで「理学(数学・化学など)」が56.0%と続く。同様に、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の学びと関連する「商学・経済学」は52.0%である。

回答企業(回答者)の属性、採用状況等

■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	かあ採 かり用 わ、の つ選決 て考裁 いに権 るが	かな採 かい用 わがの つ、決 て選裁 い考権 るには	提意か採 供見か用 すをわ時 る収らに 立集ずは 場・、直 に情接 ある報 や	無 回 答
上段:% 下段:件数(企業)					
全体	25	24.0 6	72.0 18	4.0 1	0.0 0

■本社(本部)所在地

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

	標 本 数	岩 手 県	宮 城 県	東 京 都	神 奈 川 県	静 岡 県	京 都 府	広 島 県	福 岡 県	大 分 県	無 回 答
上段:% 下段:件数(企業)											
全体	25	4.0 1	28.0 7	32.0 8	16.0 4	4.0 1	4.0 1	4.0 1	4.0 1	4.0 1	0.0 0

■業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	鉱農・林・漁・ 業	建 設 業	製 造 業	水熱電 道供給・ガス・ 業	情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業
上段:% 下段:件数(企業)									
全体	25	0.0 0	16.0 4	40.0 10	4.0 1	20.0 5	0.0 0	4.0 1	0.0 0

	標 本 数	不 動 産 業	宿飲泊食 業・店・ 業	医 療 ・ 福 祉	事複 業合 サー ビス	サー ビス 業	公 務	そ の 他	無 回 答
上段:% 下段:件数(企業)									
全体	25	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	8.0 2	0.0 0	8.0 2	0.0 0

回答企業(回答者)の属性、採用状況等

■正規社員の従業員数

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	5 0 名 未 満	1 5 0 0 0 名 名 未 満	5 1 0 0 0 名 名 未 満	1 5 , 0 0 0 0 名 名 未 満	5 1 , , 0 0 0 0 0 名 名 未 満	5 , 0 0 0 名 以上	無 回 答
上段:% 下段:件数(企業)								
全体	25	8.0 2	8.0 2	28.0 7	8.0 2	32.0 8	16.0 4	0.0 0

■正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	0 名	5 1 名 名 未 満	1 5 0 名 名 未 満	2 1 0 0 名 名 未 満	3 2 0 0 名 名 未 満	5 3 0 0 名 名 未 満	1 5 0 0 名 名 未 満	1 0 0 名 以上	無 回 答
上段:% 下段:件数(企業)										
全体	25	0.0 0	28.0 7	0.0 0	20.0 5	0.0 0	8.0 2	24.0 6	20.0 5	0.0 0

■本年度の採用予定数

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	増 や す	昨 年 度 並 み	減 ら す	未 定	無 回 答
上段:% 下段:件数(企業)						
全体	25	20.0 5	64.0 16	8.0 2	8.0 2	0.0 0

■採用したい学問分野

Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学や大学院でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

	標 本 数	商 学 ・ 経 済 学	工 学 (デ ー タ サ イ エ ン ス 、 情 報 工 学 な ど)	工 学 (機 械 工 学 、 土 木 ・ 建 築 工 学 な ど)	法 学 ・ 政 治 学	社 会 学	人 文 科 学 (文 学 、 史 学 、 哲 学 な ど)	教 育 (教 育 学 、 体 育 学 な ど)
上段: % 下段: 件数(企業)								
全体	25	52.0 13	76.0 19	76.0 19	44.0 11	40.0 10	36.0 9	28.0 7

	標 本 数	家 政 (家 政 学 、 食 物 学 、 児 童 学 な ど)	保 健 (医 学 、 薬 学 、 看 護 学 な ど)	理 学 (数 学 ・ 化 学 な ど)	農 学 (農 学 、 林 学 、 水 産 学 な ど)	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
上段: % 下段: 件数(企業)								
全体	25	24.0 6	28.0 7	56.0 14	36.0 9	12.0 3	4.0 1	0.0 0

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の特色に対する魅力度

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の特色に対する魅力度

- ・「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」の特色に対する魅力度(※)は、2つの項目どちらも8割を超える。
- ・2つの特色のうち高いのは「A. 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合 高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。」(84.0%)。次に高いのは「B. 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成 DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。」(80.0%)である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

■東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の特色に対する魅力度

Q8. 東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

特色A. 経済学と数理・データサイエンス・AIの融合

高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。

特色B. 東北地方の活性化に貢献できる人材の育成

DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。

	標 本 数	魅 と 力 を 感 じ る	魅 あ る 程 度 を 感 じ る	魅 あ ま り を 感 じ な い	魅 ま っ た く を 感 じ な い	魅 力 度 (※)	無 回 答
上段: % 下段: 件数(企業)							
特色A	25	44.0 11	40.0 10	16.0 4	0.0 0	84.0 21	0.0 0
特色B	25	40.0 10	40.0 10	20.0 5	0.0 0	80.0 20	0.0 0

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

※魅力度は、件数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻
修士課程」(仮称)の社会的必要性

- 「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」について「必要だと思う」と回答した企業は100.0% (25企業)であり、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科・専攻と捉えていることがうかがえる。

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻
修士課程」(仮称)修了生の採用意向/毎年の採用想定人数

- 「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」修了生を「ぜひ採用したいと思う」と回答した企業は28.0% (7企業)であり、予定している入学定員4名を上回る採用意向がみられた。
- 「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」修了生を「ぜひ採用したいと思う」と回答した企業へ、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」修了生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は15名で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

■東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)
の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」
(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

上段: % 下段: 件数(企業)	標本数	必要だと思 う	必要だと思 わない	無回答
全体	25	100.0 25	0.0 0	0.0 0

■東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)
修了生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」
(仮称、設置構想中)を修了した学生について、どの程度採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

上段: % 下段: 件数(企業)	標本数	ぜひ採用 したいと思う	採用したい と思う	あまり 採用したい と思わない	採用したい と思わない	無回答
全体	25	28.0 7	48.0 12	24.0 6	0.0 0	0.0 0



「ぜひ採用したいと思う」と答えた7企業のみ抽出

■東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)
修了生に対する毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称、設置構想中)を修了した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。
(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	単 位	1 名	2 名	3 名	4 名		計 お 示 毎 年 の 採 用 企 業 数 ・ 計 人 数 ・
全体	7	%	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	⇒	
		企業数	2	2	3	0		7
		名	2	4	9	0		15

※%の母数は、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」修了生を
「ぜひ採用したいと思う」と回答した企業(7企業)

※ 毎年の採用想定人数・計 各人数を代入し合計値を算出

卷末資料 調查票



【採用ご担当者様用アンケート】

東北学院大学大学院
「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」
(仮称、設置構想中)に関するアンケート

東北学院大学大学院では2025年(令和7年)4月に、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の設置を構想しています。
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した専攻にするための参考資料とさせていただきます。アンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、企業や個人を特定することは一切ございません。ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートや別紙に記載されている内容は予定であり、変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 農・林・漁・鉱業 | 6. 運輸業 | 11. 医療・福祉 |
| 2. 建設業 | 7. 卸売・小売業 | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業 | 8. 金融・保険業 | 13. サービス業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9. 不動産業 | 14. 公務 |
| 5. 情報通信業 | 10. 飲食店・宿泊業 | 15. その他 |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名 | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満 | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上 |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 | |

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|--------|----------|--------|-------|
| 1. 増やす | 2. 昨年度並み | 3. 減らす | 4. 未定 |
|--------|----------|--------|-------|

Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学や大学院でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 商学・経済学 | 8. 家政(家政学、食物学、児童学など) |
| 2. 工学(データサイエンス、情報工学など) | 9. 保健(医学、薬学、看護学など) |
| 3. 工学(機械工学、土木・建築工学など) | 10. 理学(数学・化学など) |
| 4. 法学・政治学 | 11. 農学(農学、林学、水産学など) |
| 5. 社会学 | 12. その他 |
| 6. 人文科学(文学、史学、哲学など) | 13. わからない |
| 7. 教育(教育学、体育学など) | |

裏面へ続く→

東北学院大学大学院では2025年(令和7年)4月に、「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称)の設置を構想しています。

※ ここからは、別紙「東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻（仮称）修士課程」の設置計画の概要」をご覧ください

Q8. 東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称、設置構想中)には、
 以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	とても	ある程度	あまり
① 最先端の設備・環境が整っている			
② 最先端の設備・環境が整っていない			
③ 最先端の設備・環境が整っている			
④ 最先端の設備・環境が整っていない			
⑤ 最先端の設備・環境が整っている			
⑥ 最先端の設備・環境が整っていない			
⑦ 最先端の設備・環境が整っている			
⑧ 最先端の設備・環境が整っていない			
⑨ 最先端の設備・環境が整っている			
⑩ 最先端の設備・環境が整っていない			
⑪ 最先端の設備・環境が整っている			
⑫ 最先端の設備・環境が整っていない			
⑬ 最先端の設備・環境が整っている			
⑭ 最先端の設備・環境が整っていない			
⑮ 最先端の設備・環境が整っている			
⑯ 最先端の設備・環境が整っていない			
⑰ 最先端の設備・環境が整っている			
⑱ 最先端の設備・環境が整っていない			
⑲ 最先端の設備・環境が整っている			
⑳ 最先端の設備・環境が整っていない			
㉑ 最先端の設備・環境が整っている			
㉒ 最先端の設備・環境が整っていない			
㉓ 最先端の設備・環境が整っている			
㉔ 最先端の設備・環境が整っていない			
㉕ 最先端の設備・環境が整っている			
㉖ 最先端の設備・環境が整っていない			
㉗ 最先端の設備・環境が整っている			
㉘ 最先端の設備・環境が整っていない			
㉙ 最先端の設備・環境が整っている			
㉚ 最先端の設備・環境が整っていない			
㉛ 最先端の設備・環境が整っている			
㉜ 最先端の設備・環境が整っていない			
㉝ 最先端の設備・環境が整っている			
㉞ 最先端の設備・環境が整っていない			
㉟ 最先端の設備・環境が整っている			
㊱ 最先端の設備・環境が整っていない			
㊲ 最先端の設備・環境が整っている			
㊳ 最先端の設備・環境が整っていない			
㊴ 最先端の設備・環境が整っている			
㊵ 最先端の設備・環境が整っていない			
㊶ 最先端の設備・環境が整っている			
㊷ 最先端の設備・環境が整っていない			
㊸ 最先端の設備・環境が整っている			
㊹ 最先端の設備・環境が整っていない			
㊺ 最先端の設備・環境が整っている			
㊻ 最先端の設備・環境が整っていない			
㊼ 最先端の設備・環境が整っている			
㊽ 最先端の設備・環境が整っていない			
㊾ 最先端の設備・環境が整っている			
㊿ 最先端の設備・環境が整っていない			

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)			とても 魅力を感じ る	ある程度 魅力を感じ る	あまり 魅力を感じ ない	まったく 魅力を感じ ない
A.	経済学と数理・データサイエンス・AIの融合 高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多面的・数量的に解決できる能力を身につけます。	→	1	2	3	4
B.	東北地方の活性化に貢献できる人材の育成 DX化が遅れている東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。	→	1	2	3	4

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」(仮称、設置構想中)を修了した学生について、どの程度採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ぜひ採用したいと思う
2. 採用したいと思う
3. あまり採用したいと思わない
4. 採用したいと思わない

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻修士課程」（仮称、設置構想中）を修了した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 1名 2. 2名 3. 3名 4. 4名

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

経済学研究科

経済データサイエンス専攻(仮称)

修士課程 の設置を構想しています。

専攻の特色

経済学と数理・データサイエンス・AIの融合

高度な経済学の知識と数理・データサイエンス・AIの分析スキルを修得し、今日の経済社会の課題を多角的・数量的に解決できる能力を身につけます。

東北地方の活性化に貢献できる人材の育成

DX化が進んでいる東北で、データサイエンスのスキルを身に付け、地域企業・自治体等で活躍できるビジネス人材を育成することで、地域活性化に貢献します。

※設置計画は予定であり、変更になる場合があります。



東北学院大学

東北学院大学大学院「経済学研究科経済データサイエンス専攻(仮称) 修士課程」の設置計画の概要

名称

経済学研究科経済データサイエンス専攻(仮称) 修士課程

開設予定時期

2025(令和7)年4月

設置理念

政府が掲げるデジタル戦略「Society5.0」を念頭に、社会のDX化が進められている。東北地域での中小企業におけるDX化及びIT利活用の割合は低く、地域のIT産業の事業者数・売上ともに全国に比べて低いが、DX化への対応に向けて設備投資を急いでいる。このことから、今後、データサイエンスのスキルを身に付けたビジネス人材への需要が高まることが予想される。また、東日本大震災以降、震災後の経済・社会の動向に関するデータが蓄積されてきた。これらのデータも分析し、災害時の経済対策に役立つ提言を行うことは、東北地方の研究・教育機関が果たすべき役割として大変重要なものと考えられる。本学において東北経済・社会のニーズに応えるため、経済学、数理・データサイエンス・AIの高度な専門知識とスキルを修得した修士が、東北の経済を支える地域企業・自治体等での活躍により、地域活性化に貢献できることを目的として、経済学研究科経済データサイエンス専攻(仮称)修士課程を設置する。

養成する人材像

経済・社会の諸問題に関する多角的な視点及び基本的な知識を持ち、経済学及び数理・データサイエンス・AIの専門知識やスキルを活用して課題解決策を提案できる、地域経済の推進力となる人材を養成する。

アドミッションポリシー

経済学研究科は、次の点を確認することにより、修士課程への入学を受け入れる。

1. 本課程の学習に必要な経済学に関する基礎学力と明確な研究計画を有していること。
2. 本課程の学習において必要な経済学の専門知識及びデータサイエンスを用いた分析能力を修得しようとする意欲を有すること。
3. 社会課題をもとに地域経済・社会に関する諸問題を数的に分析し、解決策を提案したいという意欲をもっていること。

設置場所

宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号(土樋キャンパス)

宮城県仙台市青葉区清水小路3番1号(五橋キャンパス)

学生納付金等(予定)

	入学前	入学後
入 学 金	—	¥270,000
授業料	¥617,000	¥617,000
施設設備費	¥210,000	¥210,000
教育充実費	¥20,000	¥20,000
諸会費	¥19,000	¥22,000
計	¥866,000	¥1,139,000

(注)社会人大学大学院生に対する給付奨励学費制度も視野中

統合する大学院・研究科・専攻等の名称

- (1) 東北大学大学院 経済学研究科経済経営学専攻
- (2) 岩手大学大学院 総合科学研究科地域創生専攻
- (3) 宮城大学大学院 事業構想科学研究科事業構想学専攻
- (4) 福島大学大学院 地域デザイン科学研究科経済経営専攻

入学定員

修士課程 4名

目指せる職業や将来像

地域の企業・金融機関・公務員(県庁、市役所)、
地域コンサルタント業界、情報通信業界、
NPO法人、NGO法人 等

経済データサイエンス専攻教育課程(案)

	授業名称	単位
研究基礎	経済学特論	2
	データサイエンス特論	2
	ミクロ経済学特論 I	2
	ミクロ経済学特論 II	2
	マクロ経済学特論 I	2
	マクロ経済学特論 II	2
	産業組織論特論 I	2
	産業組織論特論 II	2
	国際経済論特論 I	2
	国際経済論特論 II	2
	経済統計学特論 I	2
	経済統計学特論 II	2
	計量経済学特論 I	2
	計量経済学特論 II	2
	モデル・シミュレーション特論 I	2
研究科目選修	モデル・シミュレーション特論 II	2
	社会統計学特論	2
	データベース特論	2
	人工知能特論	2
	複雑系の科学	2
	プログラミング特論	2
	ネットワーク特論	2
	メディア・コミュニケーション特論	2
	情報システム特論	2
	メディア情報処理特論	2
	アルゴリズム特論	2
	ミクロ経済学演習	4
	マクロ経済学演習	4
	産業組織論演習	4
	計量経済学演習	4
研究科目選修	産業組織分析演習	4
	社会調査法演習	4
	モデル・シミュレーション演習	4
	人工知能演習	4
	メディア・コミュニケーション演習	4

※設置計画は予定であり、変更になる場合があります。

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1			#DIV/0!
2			#DIV/0!
3			#DIV/0!
4			#DIV/0!
5			#DIV/0!
	全 体		#DIV/0!

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 （都道府県）	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1				
2				

※ 2 校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	社会科学系（大学院）	65.09%	68.40%	71.07%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

大学学部学科等名：経済学部経済学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
総合型選抜	募集人数		35人	35人	35人	35人	35人	35人
	延べ人数	志願者数	72人	44人	50人	57人	47人	54人
		受験者数	72人	44人	50人	57人	47人	54人
		合格者数	39人	36人	37人	38人	41人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	72人	44人	50人	57人	47人	54人
		受験者数	72人	44人	50人	57人	47人	54人
		合格者数	39人	36人	37人	38人	41人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		39人	36人	37人	38人	41人	38人
学校推薦型選抜	募集人数		139人	139人	137人	137人	128人	136人
	延べ人数	志願者数	183人	202人	185人	187人	197人	191人
		受験者数	183人	202人	184人	187人	197人	191人
		合格者数	183人	199人	183人	187人	197人	190人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	183人	202人	185人	187人	197人	191人
		受験者数	183人	202人	184人	187人	197人	191人
		合格者数	183人	199人	183人	187人	197人	190人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		182人	199人	183人	187人	197人	190人
一般選抜	募集人数		218人	218人	220人	220人	220人	219人
	延べ人数	志願者数	1211人	1283人	1097人	1595人	1847人	1407人
		受験者数	1192人	1255人	1079人	1556人	1805人	1377人
		合格者数	498人	505人	566人	879人	889人	667人
		うち追加合格者数	7人	0人	9人	85人	68人	34人
		辞退者数	0人	14人	13人	17人	36人	16人
	実人数	志願者数	752人	822人	624人	365人	447人	602人
		受験者数	744人	809人	620人	347人	426人	589人
		合格者数	334人	325人	329人	222人	222人	286人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	19人	30人	10人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		211人	185人	205人	204人	184人	198人
共通テスト利用入試	募集人数		42人	42人	42人	42人	41人	42人
	延べ人数	志願者数	640人	527人	476人	606人	551人	560人
		受験者数	623人	508人	451人	589人	527人	540人
		合格者数	199人	209人	231人	268人	243人	230人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	10人	0人	11人	17人	8人
	実人数	志願者数	285人	261人	206人	224人	238人	243人
		受験者数	283人	255人	202人	224人	233人	239人
		合格者数	117人	125人	123人	128人	138人	126人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	9人	4人	7人	17人	7人
	入学者数		25人	19人	23人	24人	22人	23人
その他の特別選抜	募集人数		6人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	0人	3人	0人	0人	0人	1人
		受験者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	3人	0人	0人	0人	1人
		受験者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	1人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		440人	440人	440人	440人	430人	438人
	延べ人数	志願者数	2106人	2059人	1808人	2445人	2642人	2212人
		受験者数	2070人	2011人	1764人	2389人	2576人	2162人
		合格者数	919人	950人	1017人	1372人	1370人	1126人
		うち追加合格者数	7人	0人	9人	85人	68人	34人
		辞退者数	0人	24人	13人	28人	53人	24人
	実人数	志願者数	1292人	1332人	1065人	833人	929人	1090人
		受験者数	1282人	1312人	1056人	815人	903人	1074人
		合格者数	673人	686人	672人	575人	598人	641人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	19人	30人	10人
		辞退者数	1人	9人	4人	7人	17人	8人
	入学者数		457人	440人	448人	453人	444人	448人

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	440人	440人	440人	440人	430人	438人
入学定員充足率	1.04	1.00	1.02	1.03	1.03	1.02
歩留率	0.50	0.46	0.44	0.33	0.32	0.41

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：経済学研究科説明会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	5人	4人	①取組概要 受験希望者を対象として土樋キャンパス、泉キャンパス、またオンライン説明会を開始し、本研究科の特色や養成する人材像の紹介、教員との懇談、施設案内などを実施。 R4年度入試対象（R3開催）：計4回開催（3/30. 9/15. 11/20. 1/10） R5年度入試対象（R4開催）：計4回開催（3/30. 9/8. 9/9. 11/23） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 新設の経済データサイエンス専攻に関しても説明会を行う。既設の経済学専攻では学内進学希望者は経済学部学生が主であったが、新設専攻では経済学部及び情報学部（教養学部情報科学科）の学生が対象となり、それぞれの学部学生に合わせた説明会を実施する予定である。その際、TA制度について説明し、学びながら収入を得て、経済的な負担を軽くする方法についても伝える。社会人学生を募集するためのPR活動については、ダブルメジャー事業として企業及び地方自治体と連携協力をする計画になっているため、そのネットワークを活用する。
うち受験対象者数 (b)	2人	0人	
うち受験者数 (c)	1人	0人	
うち入学者数 (d)	1人	0人	
（受験率 c/b）	50.0%	0.0%	
（入学率 d/b）	50.0%	0.0%	